

2009 年 3 月期 第 3 四半期決算 FAQ

Q1:第3四半期（10-12月期）の業績が前回想定（10月21日）と比べて悪化した要因は？

A1:第 3 四半期の半導体売上高につきましては、想定を大きく上回る半導体需要の減少により、前四半期(7-9 月期)比で 23%減収の 1,227 億円となりました。製品別に見ますと、液晶ドライバ向けICや自動車向け半導体が想定より大きく減収となったことに加え、前四半期まで好調であったブルーレイ・ディスク機器向け半導体も減速いたしました。

営業損益につきましては、前四半期比で研究開発費や販売管理費などのコスト削減を行ったものの、半導体売上高が大幅な減収となったことにより、162 億円の赤字となりました。

Q2:第4四半期の見通しは？第3四半期よりも悪化することだが、どの分野が悪化するのか？

A2:第 4 四半期の半導体売上高につきましては、第 3 四半期よりも更に事業環境が悪化することを想定し、第 3 四半期比で約 27%減収の 890 億円を見込んでおります。為替の前提は、1 ドルあたり 90 円、1 ユーロあたり 125 円に変更しております。

半導体売上高に関しては、特に自動車向け半導体と液晶ドライバ向け I C が第 3 四半期と比較して大きく減収となる見込みです。

営業損益につきましては、半導体売上高の減少により、約 400 億円の赤字を見込んでおります。

Q3:今回打ち出した”2 年間で800億円の固定費削減“の内訳は？この施策で十分か？

A3:当社は、業績改善に向けて、今後2年間で800億円の固定費削減施策を実施いたします。まず、来年度(2010年3月期)においては、生産関連固定費、研究開発費、およびその他全社費用の見直し等で、今年度比で約600億円を削減いたします。再来年度(2011年3月期)においては、生産体制再編の加速を中心に約200億円の削減を実行いたします。これにより、2011年3月期における損益分岐点を約5,000億円まで引き下げます。

また、1月29日に発表いたしました施策のみならず、更なる固定費の削減施策を継続して検討し、生き残りをかけた構造改革を断行していきたいと考えております。

Q4:新聞等のメディアで“半導体業界再編”が報道されていたが、NEC エレクトロニクスはどのように考えているのか？

A4: 半導体業界再編の声が高まっておりますが、当社はまずは自社の体制を立て直し、黒字化への道筋を立案し、実行可能にすることが先決であると考えております。体制の見直しや今後の戦略などを立案していく過程で、他社との協業を含め、生き残りをかけたあらゆる手段を検討してまいります。

以上